

下野市立地適正化計画における
施策・事業の実施状況と目標値の中間計測について

下野市都市計画課



目 次

I. はじめに	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
II. 施策・事業の実施状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
1. 都市機能誘導区域内の賑わいづくり	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
<誘導施策の内容>	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
<H29～R3年度の取組>	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
1) 石橋駅周辺の都市機能誘導区域	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
2) 自治医大駅周辺の都市機能誘導区域	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
3) 商店リフォームへの支援	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
4) 複合コンベンション施設等の整備	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
<検証>	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
1) 石橋駅周辺の都市機能誘導区域	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
2) 自治医大駅周辺の都市機能誘導区域	・・・・・・・・・・・・・・・・	14
3) 商店リフォームへの支援	・・・・・・・・・・・・・・・・	14
4) 複合コンベンション施設等の整備	・・・・・・・・・・・・・・・・	14
<今後に向けて 改善等>	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
1) 石橋駅周辺の都市機能誘導区域	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
2) 自治医大駅周辺の都市機能誘導区域	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
3) 商店リフォームへの支援	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
4) 複合コンベンション施設等の整備	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
2. 居住誘導区域内での移住・定住者の増加	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
<誘導施策の内容>	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
<H29～R3年度の取組>	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
1) 空き家バンクの運営	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
2) デマンド交通の運営	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
3) 1市2町広域連携バス「ゆうがおバス」の運営	・・・・・・・・・・・・・・・・	18
4) 公共交通関連計画の策定	・・・・・・・・・・・・・・・・	18
<検証>	・・・・・・・・・・・・・・・・	18
<今後に向けて 改善等>	・・・・・・・・・・・・・・・・	18
3. 誘導による医療・福祉・子育てサービスの提供	・・・・・・・・・・・・・・・・	20
<誘導施策の内容>	・・・・・・・・・・・・・・・・	20
<H29～R3年度の取組>	・・・・・・・・・・・・・・・・	20
<検証>	・・・・・・・・・・・・・・・・	20
<今後に向けて 改善等>	・・・・・・・・・・・・・・・・	21
III. 目標値に対する中間計測	・・・・・・・・・・・・・・・・	22
1. 目標値	・・・・・・・・・・・・・・・・	22
2. 目標値に対する中間計測についての取りまとめにあたっての考え方	・・・・・・・・	23
(1) 計画測定時の目標設定の考え方	・・・・・・・・	23
(2) 今回の中間計測の考え方	・・・・・・・・	23
3. 今回の中間計測の値	・・・・・・・・	23
(1) 人口密度の参考値(推計値)の算出	・・・・・・・・	23
(2) 都市機能誘導区域内に立地する福祉・子育て系施設の施設数	・・・・	26

I. はじめに

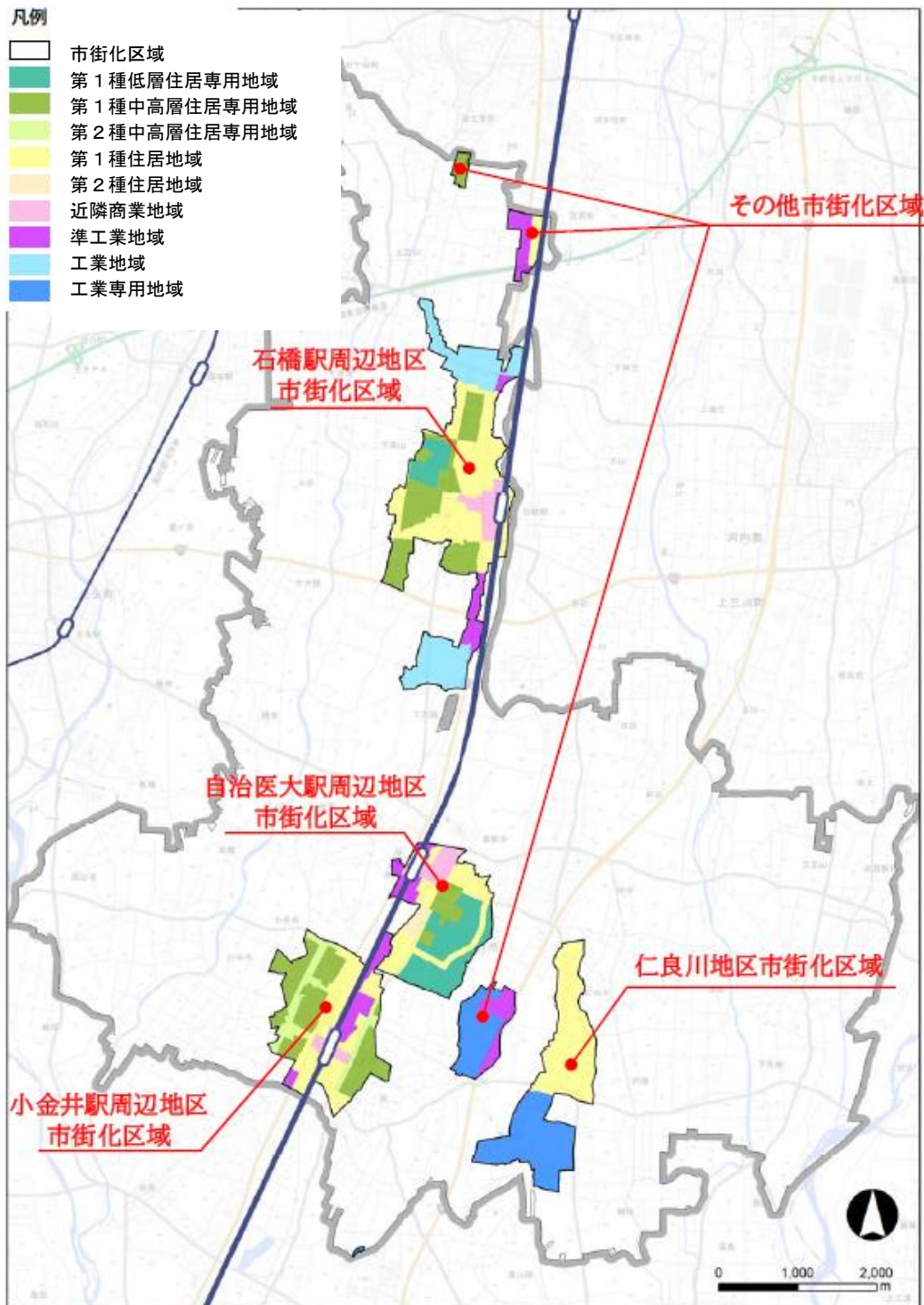
1. 計画期間等

- 平成29年3月策定
- 下野市都市計画マスタープランの目標年次である令和7年度を中間年次とし、令和17年度を目標年度

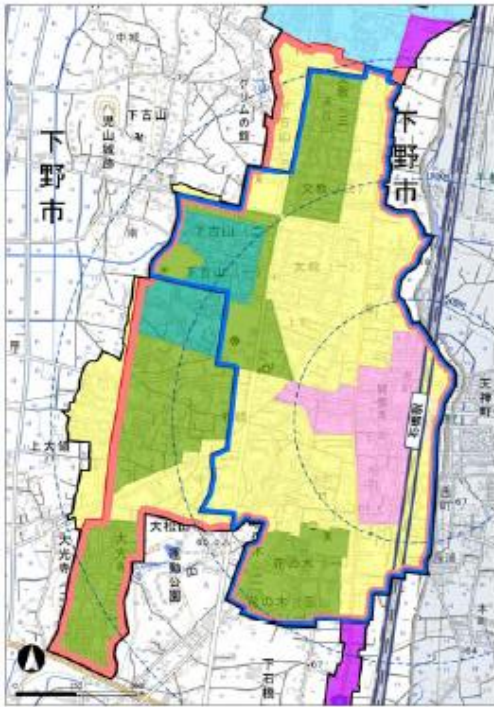
2. 計画における施策・事業の実施状況、目標値の達成状況

- 計画は令和3年度で策定後5か年が経過
- 施策・事業の実施状況と目標値の達成状況を確認し、今後に繋げる。

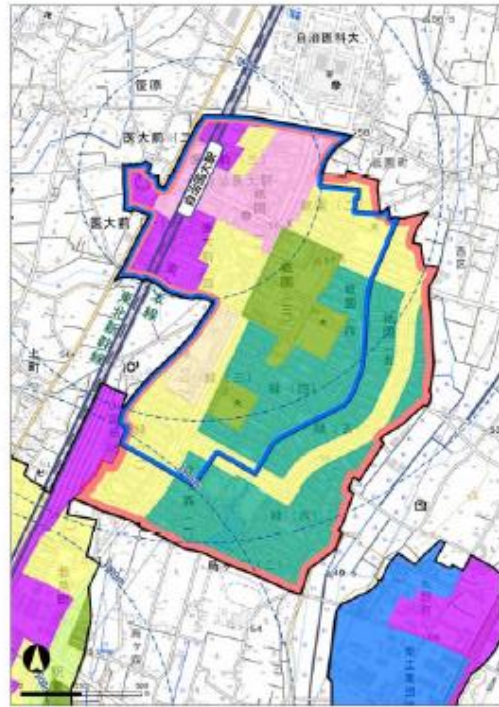
□ 本資料における市街化区域の分類



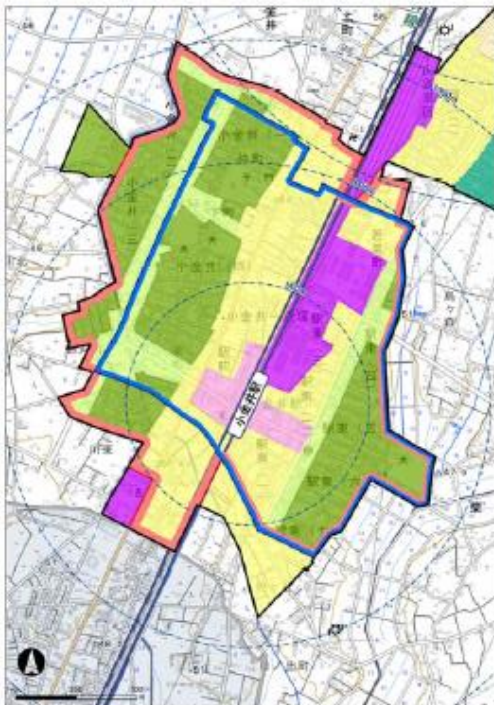
□ 立地適正化計画における誘導区域



石橋駅周辺地区



自治医大駅周辺地区



小金井駅周辺地区

凡例

- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域
- 市街化区域

- | | |
|--|---|
| ■ 第1種低層住居専用地域 | ■ 近隣商業地域 |
| ■ 第1種中高層住居専用地域 | ■ 準工業地域 |
| ■ 第2種中高層住居専用地域 | ■ 工業地域 |
| ■ 第1種住居地域 | ■ 工業専用地域 |
| ■ 第2種住居地域 | |

Ⅱ. 施策・事業の実施状況

□施策・事業の実施状況についての取りまとめにあたっての考え方

- ・ 本計画は居住誘導区域及び都市機能誘導区域を設定し、その区域内への機能の誘導を目指す計画である。そのため、「施設の立地」の視点から施設を誘導するための5年間の施策の実施状況を確認し、その検証と今後に向けた考え方を以下のとおり整理する。

<誘導施策の内容>

誘導施策として計画書に記載された内容

<H29～R3年度の取組>

誘導施策の5年間の取組の概要

<検証>

5年間の取組についての検証

<今後に向けて 改善等>

取組の概要と検証を受けての今後に向けての考え方の整理

1. 都市機能誘導区域内での賑わいづくり

<誘導施策の内容> 計画書より抜粋

公共施設の整備・再編・複合化により、公有地を有効活用することで、更なる都市機能の誘導と集積を図ります。また、既存の空き店舗活用取組や下野市産業振興計画等と連携し、各都市機能誘導区域においてニーズの高い施設を誘導します。

- ① 石橋総合病院跡地への複合施設整備
- ② 石橋庁舎跡地への交流広場整備
- ③ 老朽化した公共施設の建替・複合化
- ④ 自治医大駅周辺のバリアフリー化
- ⑤ 地域の情報や防災情報を発信するためのコミュニティFMスタジオ
- ⑥ 商店リフォームへの支援
- ⑦ 複合コンベンション施設等の整備

<H29～R3年度の取組>

1)石橋駅周辺の都市機能誘導区域

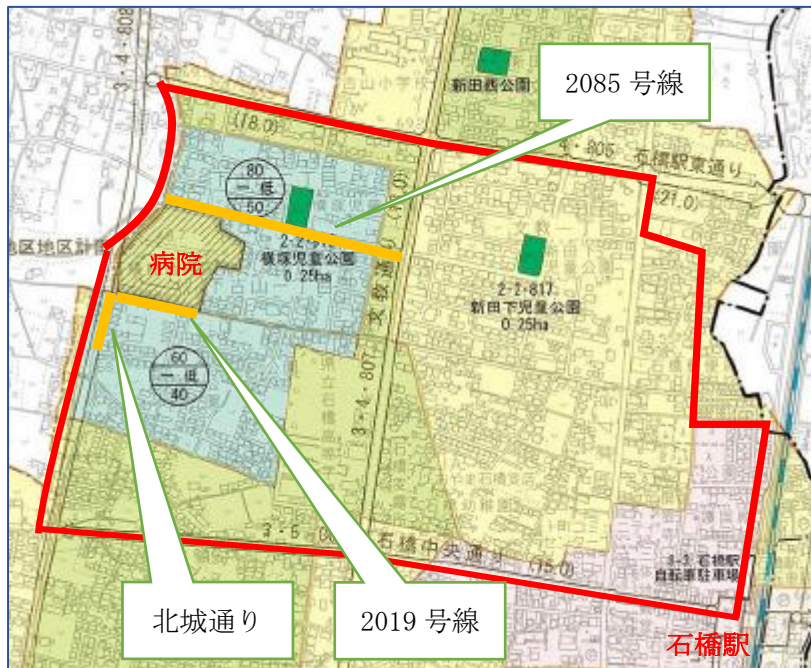
(1)石橋総合病院の新築移転

- ・社会資本整備総合交付金の都市機能立地支援事業等の補助を活用
- ・下古山一丁目（旧石橋中学校跡地）に**平成29年3月新築移転**
- ・RC造4階建て 床面積13,000㎡

(2)石橋総合病院へのアクセス道路整備

- ・社会資本整備総合交付金の都市再生整備計画事業の補助を活用、石橋駅周辺地区を計画区域として設定
- ・事業期間：**平成27年度～令和元年度**
- ・都市計画道路3.4.808号北城通り 延長60m 幅員16m
- ・市道2085号線 延長450m 幅員9m
- ・市道2190号線 延長150m 幅員8m

□石橋駅周辺地区都市再生整備計画（概要）



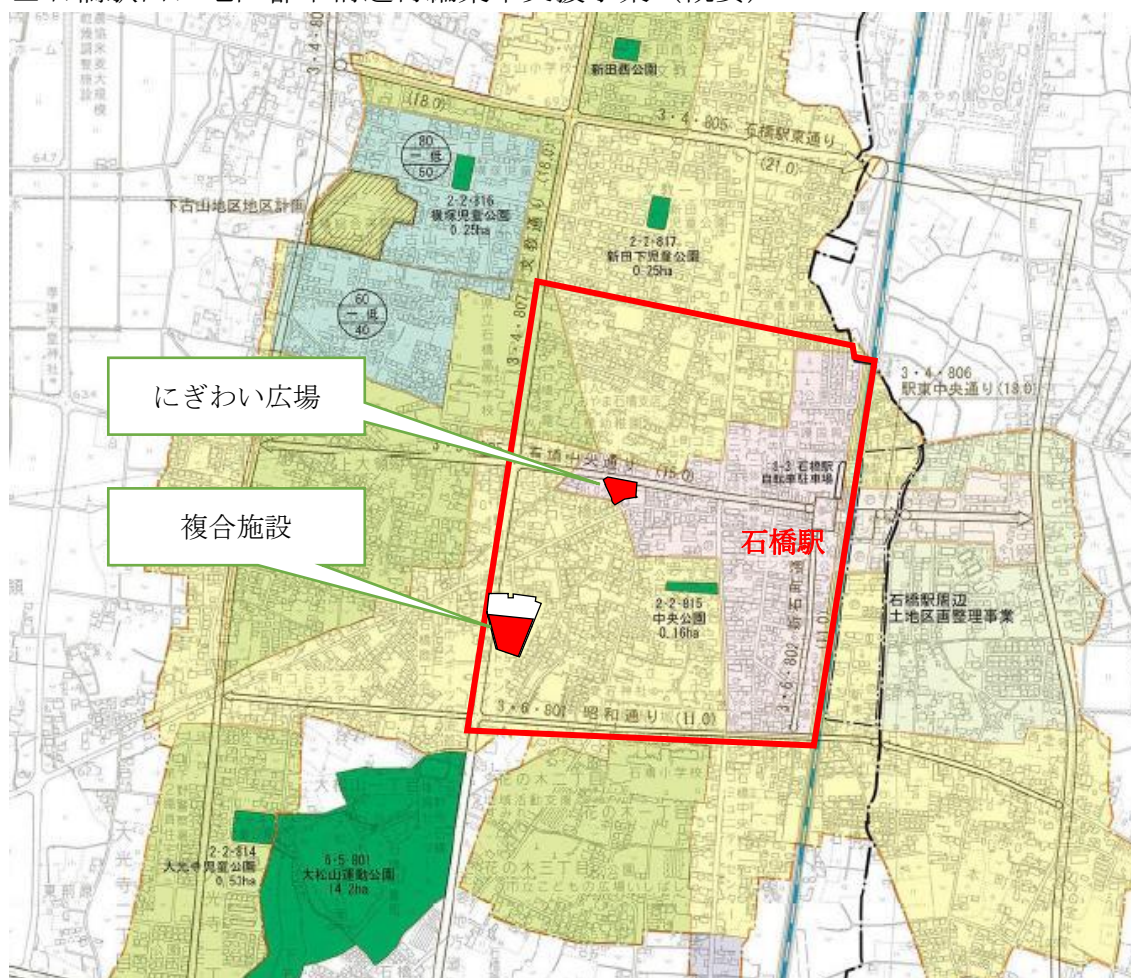
凡 例		
彩色	種 別	備考
— — — —	都市計画区域	
— — — —	市 町 界	
□ □ □ □	市街化区域	
■ ■ ■ ■	第一種低層住居専用地域	60/40 80/50
■ ■ ■ ■	第一種中高層住居専用地域	200/60
■ ■ ■ ■	第二種中高層住居専用地域	200/60
■ ■ ■ ■	第一種住居地域	200/60
■ ■ ■ ■	第二種住居地域	200/60
■ ■ ■ ■	近隣商業地域	200/80
■ ■ ■ ■	準工業地域	200/60
■ ■ ■ ■	工業地域	200/60
■ ■ ■ ■	工業専用地域	200/60
■ ■ ■ ■	特別工業地区	
■ ■ ■ ■	公 園	
■ ■ ■ ■	緑 地	
— — — —	歩行者専用道路	
— — — —	都市計画道路	
■ ■ ■ ■	地区計画区域	

□ : 計画区域

(3)石橋駅西口地区整備

- ・都市構造再編集中支援事業の補助を活用、石橋駅西口地区を計画区域として設定
- ・事業期間：令和2年度～令和6年度
- ・石橋総合病院跡地への複合施設整備、石橋庁舎跡地への交流広場整備、老朽化した公共施設の建替・複合化及びソフト事業を実施

□石橋駅西口地区都市構造再編集中支援事業（概要）



□ : 計画区域

①石橋総合病院跡地への複合施設整備

・ 竣工予定:令和4年10月末

(ア) 公共施設部分

用途：**公民館・児童館**（老朽化した両機能を建替・複合化）

構造：鉄骨造2階建て

規模：建築面積約1,593㎡、延床面積約2,619㎡

(イ) 民間施設

用途：**ドラッグストア等**

構造：鉄骨造1階建て

規模：建築面積約1,352㎡、延床面積約1,352㎡

□複合施設完成イメージ図（実際とは異なる可能性があります）



西側より全体を俯瞰



西側より公共施設部分を俯瞰

②石橋庁舎跡地への交流広場整備

- ・ 石橋にぎわい広場 令和3年4月オープン
- ・ 面積2,700㎡ (イベント広場821㎡、芝生広場989㎡)



③公共施設等官民連携推進事業

本地区への関心や愛着を醸成し、市民活動の活性化を図るとともに、公共空間の活用方法を見出すため、市民参加型のワークショップやイベントを開催したほか、地域店舗の協力のもと、まちなかの居場所づくりを実施した。

実施内容	実績	令和2年度	令和3年度
【ワークショップ】 ・ 空き店舗での映画上映会 ・ まちあるき(歴史探索・地域の人探訪) ・ チェアリング など		5回開催 参加延べ人数 49人	7回開催 参加延べ人数 94人
【にぎわい広場実験室(にぎラボ)】 ・ モルック体験 ・ 大縄跳び ・ 立ち読みスペース設置 など			10回開催 参加延べ人数 262人
【石橋縁側】 グリム通りの店舗前歩道にベンチを 置きオープンカフェスペース設置		協力店舗数 9店舗	協力店舗数 11店舗

④リノベーションまちづくり事業

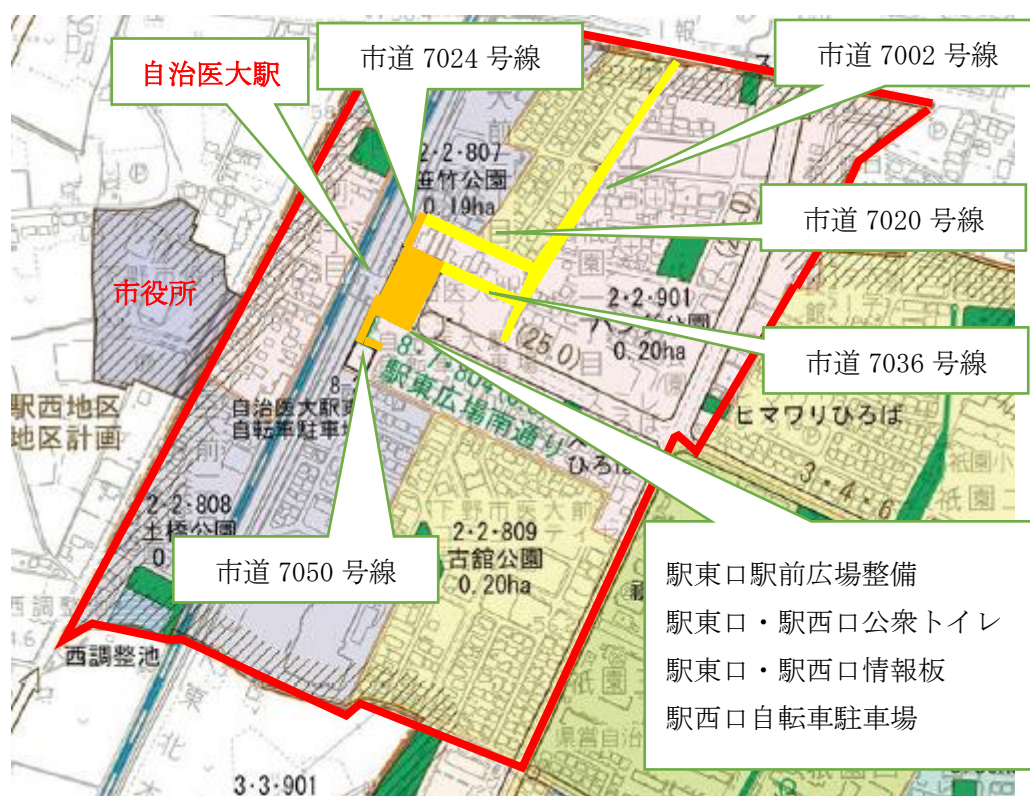
- ・ リノベーションまちづくりとは、一般的には、現在のあらゆる資産を有効に活用して地域課題を解決していくこと
- ・ 令和2年度に、専門家による講座を2回セットで開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により2年延期、**令和4年度中に開催予定**

2)自治医大駅周辺の都市機能誘導区域

(1)自治医大駅周辺のバリアフリー化

- ・都市構造再編集中支援事業の補助を活用、自治医大駅周辺地区を計画区域として設定
- ・事業期間：令和元年度～令和5年度
- ・駅前広場及び駅から自治医科大学への徒歩でのアクセス道路のバリアフリー化

□自治医大駅周辺地区都市構造再編集中支援事業（概要）



駅東口駅前広場の完成イメージ図



市道 7002 号線の完成イメージ図

(実際とは異なる可能性があります)

①駅前広場周辺整備

- ・ 駅東口駅前広場整備 面積4,300㎡(R2~4)
- ・ 駅東口公衆トイレ改修 1箇所(R4)
- ・ 駅西口公衆トイレ整備 1箇所(R5)
- ・ 駅東口・駅西口情報板整備 2箇所(R4)
- ・ 駅西口自転車駐車場整備 1箇所(R5)

②歩道バリアフリー化

- ・ 市道7002号線 延長380m 幅員12m(R3完了)
- ・ 市道7020号線 延長140m 幅員6m(R3完了)
- ・ 市道7036号線 延長85m 幅員6m(R4)
- ・ 市道7024号線 延長36m 幅員7.8~9.8m(R4)
- ・ 市道7050号線 延長58m 幅員4m~6m(R4)

(2)地域の情報や防災情報を発信するためのコミュニティFMスタジオ

- ・ 令和元年12月開局
- ・ 自治医大駅前(祇園一丁目)の「スマレひろば」500㎡を転用
- ・ 木造平屋建て135㎡



3) 商店リフォームへの支援

下野市まちなか商店リフォーム補助金

- ・対象店舗：3 駅から概ね 1.5 km 以内で店舗面積が 1,000 m² 以下
- ・補助率及び限度額

項目	空き店舗開業者	既存店舗営業者
補助率	1 / 2	1 / 3
補助限度額	100 万円	50 万円

- ・補助実績

エリア	空き店舗	既存店舗	計
石橋駅周辺	4	4	8
自治医大駅周辺	12	11	23
小金井駅周辺	1	6	7
計	17	21	38

4) 複合コンベンション施設等の整備

- ・複合コンベンション施設等は自治医大駅周辺への誘導施設として設定しているものの、計画ができていない。

< 検証 >

1) 石橋駅周辺の都市機能誘導区域

(1) 石橋病院周辺（石橋駅周辺地区）

- ・定住を支援する交通環境が確保された住みよい市街地づくりを図るため、「高齢者をはじめ誰もが住みよい市街地の定住環境を支援する機能の確保」と「歩行者が安全に移動できる交通環境づくり」を目標とした。
- ・目標を定量化する指標として「地区人口」、「地区人口密度」、「道路のバリアフリー」、「石橋総合病院の利用者数」の目標値を設定した。
- ・世帯数は増加したが、地区人口及び地区人口密度の維持までには至らなかった。
- ・石橋総合病院へのアクセス道路がバリアフリー整備され、区域内の主要道路のバリアフリー化率の向上につながった。
- ・石橋総合病院が移転し、救急対応の強化、病院機能の充実、駐車場面積の拡大及び病院へのアクセス性の向上などから、病院利用者数の増加につながった。

(2) 石橋駅西口地区整備

- ・ 施設整備については、石橋庁舎跡地への「石橋にぎわい広場」整備が完了するとともに、石橋総合病院跡地への石橋児童館及び石橋公民館の建替による複合施設の整備が予定どおり進んでいる。
- ・ ソフト事業については、映画上映会や「まちあるき」などのイベントの実施をとおして、大学生や若手社会人など、これまで出会えなかったまちづくりに興味のある人同士が具体的な接点を持つことができた。
- ・ イベントへの参加者は年々増加しており、活動意欲のある人々の可視化やつながりが強化できた。また、人と人との交流の場としての「石橋縁側」についても、その意義を理解していただき、参加店舗が少しずつ増加した。
- ・ 公共空間を活用した「にぎわい広場実験室」では、今まで 262 名の参加があり、地域住民等が実際に体験することで公共空間の新たな活用について提示することができた。
- ・ 整備する施設同士のネットワーク化により駅からの周遊を誘い、交流・関係人口の拡大を図るとともに、市民活動の活性化や地域人材の発掘・育成、リノベーションによりまちなかの魅力向上を目標とした。
- ・ 目標を定量化する指標として「複合施設の利用件数」、「イベント開催数」、「グリム通りの歩行者数」、「石橋駅の乗降客数」の目標値を設定した。

2)自治医大駅周辺の都市機能誘導区域

- ・ 快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくりを図るため、「人に優しい交通環境づくり」と「快適に住み続けられる住環境づくり」を目標とした。
- ・ 目標を定量化する指標として「地区人口」、「道路のバリアフリーに関する満足度」、「駅前広場の使いやすさ満足度」の目標値を設定した。
- ・ 現在は目標を達成するために、駅前広場周辺整備と歩道バリアフリー化を進めており、事業の早期完了を目指していく。

3)商店リフォーム支援

- ・ 商店リフォームへの支援について、既存店舗補助は、営業形態変更やリニューアルの工事費用の一部を補助することで事業の展開を促し、事業継続を支援できた。また、空き店舗開業補助は、創業時の資金繰りの支援になり、他市町との物件の競争力を高め、新規出店を促進した。

4)複合コンベンション施設等の整備

- ・ 財政面など解決すべき課題があり、施設の具体的な機能について検討さ

れていないことから計画に至っていない。

＜今後に向けて 改善等＞

1)石橋駅周辺の都市機能誘導区域

(1) 石橋病院周辺（石橋駅周辺地区）

- ・ 石橋総合病院と連携し、都市機能誘導区域の快適な移動環境づくりを推進する。
- ・ 都市計画道路 3・4・808 号北城通りなど未整備の都市計画道路の整備を進める。
- ・ 下野市内の広域的な交通ネットワークを踏まえた総合的な指針となる「下野市幹線道路網整備計画」について、整備の進捗状況や社会情勢の変化に対応するため、見直しを実施する。その際、自転車レーン等の設置についても併せて検討する。

(2) 石橋駅西口地区整備

- ・ ソフト事業においては、その認知度向上のため、SNSでの発信を強化する。また、前年度までの取組も踏まえ、より地域に密着した内容となるよう、地元の学校等との連携を目指すほか、より多くの市民を巻き込めるようなプログラムを展開する。
- ・ リノベーションまちづくり事業については、感染症対策を施したうえで、令和4年度中に開催したい。

2)自治医大駅周辺の都市機能誘導区域

- ・ 自治医科大学附属病院と連携し、都市機能誘導区域の快適な移動環境づくりを推進する。
- ・ 自治医科大学附属病院や栃木県などと協議を行い、道路網の骨格を形成する道路である（一）下野二宮線、（一）自治医大停車場線及び（一）小山下野線のバリアフリー化の実現を目指す。その際、自転車レーン等の設置についても併せて検討する。

3)商店リフォーム支援

- ・ 商店リフォームへの支援について、補助対象の空き店舗を「閉店後3か月以上テナント募集している店舗」としていることから、閉店後、期間を空けずに出店する場合は懸案となっている。また開店後、継続して1年以上営業することが条件となっているが、短期で閉店する店舗があり、出店後の新たな支援策が必要となっている。

4)複合コンベンション施設等の整備

- ・ 公共施設の在り方、複合コンベンション施設等に求める機能、立地に適した用地等について、その方向性を継続して検討していく。

2. 居住誘導区域内での移住・定住者の増加

<誘導施策の内容> 計画書より抜粋

デマンド交通などの公共交通や自転車利用環境の向上、駅周辺の歩道改良、バリアフリー化により、生活交通の確保と安全な歩行空間整備による高質な都市空間を形成します。また、バリアフリー化や修景に加え、今後、策定予定の地域公共交通等に関する計画と連携し快適な移動環境の形成を図ります。

- ① 空き家・空き地活用への支援
- ② 公共交通網の形成
- ③ 道路・上下水道などのインフラ施設の維持・管理

<H29～R3年度の取組>

1)空き家バンクの運営

- ・ H30. 10～ 空き家バンク運用開始
【実績】登録10件、うち成約8件
- ・ H30. 10～ 空き家バンクリフォーム補助
【実績】6件
- ・ R1. 6～ 既存住宅現況調査補助
【実績】1件
- ・ R3. 4～ 登録奨励金
【実績】0件

※ R3. 1～ 空き家バンクに登録できる物件を市街化区域に限定

※ 市HP、広報、ラジオ等で制度や補助金についてPR

2)デマンド交通の運営

①デマンドバス「おでかけ号」

- ・ 運行期間 平成23年11月～令和3年3月末
- ・ 使用車両 ワゴン車
- ・ 運行方法 3エリア（石橋・国分寺・南河内）ごとに運行
- ・ 利用状況
H29 22,275人
H30 22,401人
R1 22,703人
R2 18,823人

②デマンド交通「おでかけ号」

- ・運行期間 令和3年4月～
- ・使用車両 タクシー
- ・運行方法 市内全域
- ・利用状況 R3 19,127人

3)1市2町広域連携バス「ゆうがおバス」の運営

- ・運行期間 令和元年10月～
- ・運行区間 石橋駅～獨協医大病院前、石橋駅～ゆうきが丘
- ・利用状況 R1（半年）17,790人
R2 22,536人
R3 23,507人

4)公共交通関連計画の策定

- ・令和2年度で下野市地域公共交通総合連携計画が終了するため、令和元年度～2年度にかけて新たな計画を検討、下野市地域公共交通計画を令和3年3月策定
- ・地域公共交通計画の策定により、AIを活用した配車システム導入、デマンド交通の運行エリア一体化

<検証>

- ・空き家バンクに登録できる物件を市街化区域に限定したことにより登録数が減少したが、市街化区域内の物件は民間のみの取引で流通している場合が多く、空き家バンク登録までに至らないケースが多い。
- ・デマンド交通の利便性が向上した。また、1市2町広域連携バスは、石橋駅～ゆうきが丘が運行終了となったものの、石橋駅～獨協医科大学病院前間の路線が令和4年度から本格運行となった。

<今後に向けて 改善等>

- ・都市核形成や都市集約化を推進するためにも、空き家バンクに登録できる物件を市街化区域に限定することは引き続き必要であると考え。
- ・立地適正化計画に基づく居住誘導区域内の空き家の登録を推進するための方策を検討していくことも必要であると考え。

- ・ 地域公共交通計画は令和7年度末までの計画期間であり、公共交通における利用環境の向上等に資する各種施策について、下野市地域公共交通会議と連携し取り組んでいく。

3. 誘導による医療・福祉・子育てサービスの提供

<誘導施策の内容> 計画書より抜粋

本市の特徴でもある自治医科大学附属病院や石橋総合病院、小金井中央病院などを医療機能の核として、健康・医療・社会福祉に関する施設の誘導を図ります。また、今後の高齢化に備えた施設立地とともに、各都市機能誘導区域においてニーズの高い施設の誘導を図ります。

- ① 医療・福祉機能の維持
- ② 子育て支援施設の充実や子育てサービスの提供
- ③ スマートウェルネス住宅（サービス付高齢者住宅等）の推進

<H29～R3年度の取組>

- ・ 石橋地区の医療機能を担っていた石橋総合病院が平成29年3月新築移転、アクセス道路についても整備（前掲）。
- ・ 石橋地区の老朽化した石橋児童館については平成28年、花の木一丁目に仮移転し、「こどもの広場いしばし」として児童館同等の機能を維持
- ・ サービス付高齢者向け住宅は、平成29年に1施設が整備

□サービス付高齢者向け住宅

施設名	所在	居住誘導区域	都市機能誘導区域	整備
リビングサンクス石橋	石橋	区域内	区域内	H25
家族の家ひまわり石橋	文教	区域内	区域内	H25
介護付高齢者住宅ぬくもり	小金井	区域内	区域内	H28
ふるさとホーム小金井	小金井	区域内	区域外	H29

<検証>

- ・ 現在下野市内には、サービス付高齢者住宅が4施設あり、すべて立地適正化計画での居住誘導区域内に立地、うち3施設は都市機能誘導区域内に立地している。そのため、立地の観点からは利便性があり、施設利用の際にそれほど不便を感じることはないと考えます。
- ・ 石橋総合病院、石橋複合施設については前掲、省略

＜今後に向けて 改善等＞

- ・ 高齢者が増加するなか、安心して日常生活が送れる住まいの選択ができる環境が必要となる。そのためには、心身や環境の変化に伴う住み替えの際の選択肢となり得るサービス付き高齢者向け住宅について、関係機関である栃木県と調整を図りながら整備に努めていく。

Ⅲ. 目標値に対する中間計測

1. 目標値 計画より抜粋

指標 1 都市機能誘導区域内の人口密度

件名	策定時の値	目標値
人口密度	45人/h a	45人/h a

指標 2 都市機能誘導区域内に立地する福祉・子育て系施設の施設数

件名	策定時の値	目標値
高齢者福祉施設 (デイサービス施設)	3施設	6施設
子育て支援施設 (児童館・子育て支援センター)	4施設	7施設

指標 3 居住誘導区域内の人口密度

件名	策定時の値	目標値
石橋駅周辺	45人/h a	45人/h a
自治医大駅周辺	60人/h a	60人/h a
小金井駅周辺	45人/h a	45人/h a

指標 4 公共交通の充実（デマンド交通時等の利用者の増加）

件名	策定時の値	目標値
デマンド交通等の利用者	22,000人/年	50,000人/年

2. 目標値に対する中間計測についての取りまとめにあたっての考え方

(1) 計画策定時の目標設定の考え方

計画期間である20年後の将来まちづくりを見据え、目標数値を指標として設定することで、進捗を管理する。

(2) 今回の中間計測の考え方

人口密度については、策定時の値は平成27年国勢調査を基礎とした値であり、中間計測の時点（令和4年3月）では、令和2年国勢調査を基礎とする関連データが公開されていなかった。そのため、市独自で参考値（推計値）を算出している。詳細な数値としてではなく、5年間の傾向として捉えるものとする。

福祉・子育て施設数及びデマンド交通等利用者数は実数である。

3. 今回の中間計測の値

(1) 人口密度の参考値（推計値）の算出

□ポイント

- ・平成27年から令和2年までの市街化区域内の人口は、石橋駅周辺地区・小金井駅周辺地区・仁良川地区では増、自治医大駅周辺地区は減となった。
- ・平成27年から令和2年までの誘導区域内の人口密度は、石橋駅周辺地区・小金井駅周辺地区では増加、自治医大駅周辺地区は減少となった。そのため、自治医大駅周辺地区は、策定時の値（60人/ha）を下回った。
- ・自治医大駅周辺地区は、ニュータウン特有の課題が顕在化しつつあるため、都市計画の視点からも何らかの対策を講じていく必要がある。

①市街化区域内人口の参考値（推計値）の算出

(単位：人、%)

市街化 ・調整別	地区の区分	H 2 7	R 2	増減	増減率 %
市街化 区域	石橋駅周辺地区	13,734	14,037	303	2.2
	自治医大駅周辺地区	11,588	10,912	△676	△5.8
	小金井駅周辺地区	10,200	10,390	190	1.9
	仁良川地区	2,162	2,879	717	33.2
	その他の市街化区域	1,495	1,474	△21	△1.4
	市街化区域 小 計	39,180	39,692	512	1.3
市街化調整区域		20,251	19,815	△436	△2.2
合 計		59,431	59,507	76	0.1

※ 端数処理の関係から、合計が合わない場合がある。

②石橋駅周辺地区

誘導区域内の人口及び人口密度の参考値（推計値）の算出

(単位：人、%)

区分	H 2 7	R 2	増減	増減率%
市街化区域	13,734 37.6/ha	14,037 38.4/ha	303 0.8/ha	2.2%
居住誘導区域	11,977 49.3/ha	12,274 50.6/ha	297 1.3/ha	2.5%
都市機能誘導区域	8,170 46.6/ha	8,396 47.9/ha	226 1.3/ha	2.8%

③自治医大駅周辺地区

誘導区域内の人口及び人口密度の参考値（推計値）の算出

（単位：人、％）

区分	H 2 7	R 2	増減	増減率％
市街化区域	11,588 62.3/ha	10,912 58.7/ha	△676 △3.6/ha	△5.8％
居住誘導区域	11,588 62.3/ha	10,912 58.7/ha	△676 △3.6/ha	△5.8％
都市機能誘導区域	6,819 57.9/ha	6,415 54.5/ha	△404 △3.4/ha	△5.9％

④小金井駅周辺地区

誘導区域内の人口及び人口密度の参考値（推計値）の算出

（単位：人、％）

区分	H 2 7	R 2	増減	増減率％
市街化区域	10,200 43.8/ha	10,390 44.6/ha	190 0.8/ha	1.9％
居住誘導区域	9,708 46.9/ha	9,892 47.8/ha	184 0.9/ha	1.9％
都市機能誘導区域	6,582 44.8/ha	6,655 45.3/ha	73 0.5/ha	1.1％

⑤3駅周辺地区の合計

誘導区域内の人口及び人口密度の参考値（推計値）の算出

（単位：人、％）

区分	H 2 7	R 2	増減	増減率％
市街化区域	35,523 45.3/ha	35,339 45.1/ha	△184 △0.2/ha	△0.5％
居住誘導区域	33,273 52.3/ha	33,078 52.0/ha	△195 △0.3/ha	△0.6％
都市機能誘導区域	21,571 49.0/ha	21,466 48.8/ha	△105 △0.2/ha	△0.5％

(2) 都市機能誘導区域内に立地する福祉・子育て系施設の施設数

①高齢者福祉施設（デイサービス施設）の立地状況

施設名	所在	立地
家族の家ひまわり	文教	既存
サンクス石橋	石橋	既存
えびはら	小金井	既存
ぽこあ	文教	新規

②子育て支援施設（児童館・子育て支援センター）の立地状況

施設名	所在	立地
こどもの広場いしばし	花の木	既存 ※1
南河内児童館	緑	既存
国分寺東児童館	駅東	既存
国分寺駅西児童館	小金井	既存
子育て世代包括支援センターふわり	笹原	新規 ※2

※1 石橋複合施設に移転予定

※2 市役所内に設置

(3) 公共交通の充実（デマンド交通時等の利用者の増加）

年度	利用者数 人	提供手段
H29	22,275	ワゴン車（3エリア間乗り継ぎ）
H30	22,401	〃
R1	22,703	〃
R2	18,823	〃
R3	19,127	タクシー（市内全域）